

上野原縄文の森

2012.10
Vol. 23

だより

UENOHARA
JOMON NO MORI

平成14年10月5日開園

開園 10周年記念特別号

10th

anniversary

おかげさまで10周年

ボクも 10 才になりました。

- 2～3 ページ 上野原遺跡・上野原縄文の森のあゆみ
- 4～5 ページ 国指定史跡「上野原遺跡」の再発見!!
- 6～7 ページ 十年間の縄文の森企画展
- 8～9 ページ 縄文の森みどころポイント
- 10～11 ページ どんぐり倶楽部通信ほか



国指定史跡 上野原遺跡の再発見!!

～発掘調査から現在に至るまで～

国指定史跡とは？

貝塚や古墳、都城跡、旧宅などの遺跡の中で、歴史的に重要であると考えられるものがいくつかあります。それらの中で国が指定するものを国指定史跡といい、上野原遺跡はその歴史的価値が認められて、平成11年1月14日に国の指定史跡となりました。(第4工区)

霧島市内には国指定史跡が上野原遺跡以外に二件あります。このことから、この地域一帯が歴史的風土の濃い場所であることがうかがえます。



① 隼人塚（霧島市隼人町、大正10年3月3日指定）戦いに敗れた隼人族の霊を慰めるためにつくられたという説があります。

あと一件は、霧島市国分の大隅国分寺跡（大正10年3月3日指定）です。ちなみに来年（2013年）は、大隅国が成立（713年）してから、ちょうど1300年にあたります。

発掘調査 担当者から

開園10周年にあたり、上野原遺跡の発掘調査に深く関わられた鹿児島県立埋蔵文化財センターの彌榮久志さんにお話を聞くことができました。



彌榮 久志 さん

Q. 発掘調査では、特にどんな点で苦勞されましたか？

縄文早期の竪穴住居跡の調査が大変でした。調査の状況を県文化課と埋蔵文化財センターに毎日FAXで送り続け、調整しながら調査を行いました。

Q. 保存に向けてのいきさつを教えてください。

県文化課から保存に向けた調査方法に切り替えることができるか打診がきました。その後、保存する方向で調査を進め、当時の須賀知事による現地保存宣言に至りました。

Q. これからの「縄文の森」にどのようなことを期待されますか？

縄文の森の「芯＝しんの部分」（9500年前の落葉樹文化、7500年前の常緑樹文化）を県民の皆様へアピールして、南九州の文化の流れを積極的に紹介して欲しいと思います。

彌榮さん、ご協力ありがとうございました。

上野原遺跡発掘調査当時の風景



▲ 竪穴住居跡の航空写真です。合計52軒の住居跡が検出されました。



▲ 発掘には多くの作業員さんにご協力いただきました。土器の検出の様子です。

ここが
すごい!!

上野原遺跡で発掘されたモノ



▲「双子壺」の出土状況です。大事に埋められた様子がわかり、当時の人々の土器に対する熱い思いがしのべられます。

上野原遺跡の出土遺物は、考古学的に大変貴重であるといわれていることから、縄文時代早期後葉（約7,500年前）の一括資料767点が国の重要文化財に指定されています。

中でも、対で埋められた壺形土器（通称、「双子壺」）は、台地の最も高い場所からほぼ完全な形で発見された貴重な遺物です。普通、壺形土器は液体などを貯蔵する容器と考えられていて、全国的には弥生時代に普及しますが、上野原遺跡では約7,500年前の縄文時代の層から出土しています。また、祭りや儀式に使われたとの考え方が一般的ですが、はっきりした使われ方はわかっていません。これらのことから、全国の考古学者の注目を浴びることとなりました。

ほかにも九州最古の土偶や耳飾りなど、オスメはまだまだたくさんあります。ぜひもう一度じっくりご覧になられてはいかがでしょうか。



▲九州最古の土偶です。他の土器は何に見えますか？

見どころ満載！ 縄文の森展示館



縄文シアター

自然と向き合いながらたくましく生き抜いた上野原の人々の生活を、アニメーションで再現しています。



常設展示室

県内で発掘された出土品を展示した考古学ギャラリーや体験・食のコーナーなど、考古学の世界を楽しむことができる空間です。

埋蔵文化財センターって どんなところ？



県内の遺跡の発掘調査や、遺跡に関する報告書作成を行っています。「縄文の森」と連携し、埋蔵文化財についての情報発信も行うほか、学校の先生方を対象とした研修なども実施しています。今年度は、センターが開所してからちょうど20周年にあたり、今後ますます研究・教育機関としての充実した取り組みが期待されています。



十年間の縄文の森企画展

①かごしま考古名品展②よみがえる古代の形③新発見！かごしまの遺跡 2002④かごしまの石の文化⑤よみがえる古代人⑥火山と共に生きた人々⑦新発見！2004⑧レールの下の物語⑨命と祈りの考古学⑩発掘された鹿児島県の文様⑪新発見！2005⑫上野原遺跡発掘 20周年記念⑬火山と地震と洪水と⑭⑮新発見！2006⑯縄文海進と錦江湾の考古学⑰熊毛の考古学⑱新発見！2007⑲道の島の大むかし⑳殿様の器から庶民の器まで㉑新発見！2008㉒縄文の曙と終末㉓発掘された鹿児島島の窯跡㉔明らかにされた南薩の祈り㉕新発見！2009㉖にいしえびとの想い㉗理科少年の考古学探検記㉘新発見！2010㉙古代アクセサリの魅力㉚不思議な出土品㉛新発見！2011㉜川内川流域に生きた人々㉝半径1500mの歴史と文化㉞新発見！2012

第8回「レールの下の物語」

九州新幹線開業を記念して、新幹線の線路や施設の建設に伴い発掘されたレールの下に眠る遺跡の紹介を行いました。中でも大坪遺跡では、今から3000年ほど前の勾玉や管玉が見つかっています。緑色のあざやかな石で作られたアクセサリを身につけたのは、いったいどのような縄文人だったのでしょうか？
*現在は、常設展示でご覧いただけます。

第21回「新発見！かごしまの遺跡 2008」

毎年数多くの発掘調査が行われている鹿児島県。この企画展は、県立埋蔵文化財センター発掘速報展と題して、前年度、発掘調査が行われた遺跡と報告書が刊行された遺跡の最新情報を紹介しています。この回では、県指定文化財に指定された耳取ビーナスなどの「耳取遺跡出土品」が展示されました。企画展では、普段みることのできない資料もたくさん紹介されます。

第29回「古代アクセサリの魅力」

縄文時代から弥生時代、古墳時代までの古代人が身につけていたアクセサリに焦点をあててその起源や種類を紹介。上野原遺跡や県内外各地のアクセサリの類似点や相違点も紹介しました。
また、縄文の森では県外（佐賀県）より初めて、佐賀県二塚山遺跡のガラス製垂飾品や桜馬場遺跡の有鉤銅釧などの重要文化財も紹介しました。中でも、佐賀県の東名遺跡の鹿の骨に細工を施した「鹿角製装身具」は、その模様の細かさに目を奪われました。現代に生きる私たちにも身近なアクセサリということで、大変好評を得た企画展となりました。

展示の様子

10th 開園 10周年記念特別企画展

縄文人の匠の技

～土器・土偶・耳飾りからのメッセージ～
期間：10月6日(土)～12月2日(日)
場所：上野原縄文の森展示館企画展示室

高い芸術性と高度な製作技術を備えた土器、土偶、耳飾りなどを縄文人がどのような思いで制作したのか。縄文時代早期後葉の上野原遺跡と縄文時代中期の釈迦堂遺跡（山梨県）、縄文時代後期～晩期の茅野遺跡（群馬県）の出土資料をもとに縄文時代に生きた人びとの豊かな心とあふれる生命力に迫ります。
更に後田遺跡（山梨県）、桂野遺跡（山梨県）の土偶や写真パネルも併せて紹介します。



水煙文土器 国指定重要文化財 釈迦堂遺跡博物館蔵



茅野遺跡「土製耳飾り」 国指定重要文化財 棟東村耳飾り館蔵



後田遺跡「仮面土偶（レプリカ）」 蕪崎市教育委員会蔵



桂野遺跡「パンザイ土偶（ヤッホー）」 笛吹市教育委員会蔵

特別企画展講演会

期日：11月3日(土)
時間：13:30～15:00
会場：縄文の森展示館1階 多目的ルーム
講師：東京大学文学部教授 教授 設楽 博己氏
*11月3日文化の日、利用料金が無料です。



縄文の森みどころポイント ~のんびり癒ったり縄文の森~



縄文の森のみどころ施設やウォーキングコースなどを紹介します！

エノキ (展示館前シンボルツリー)

エノキは本州、四国、九州、沖縄に分布する落葉高木。山地や丘陵の適度に湿り気のある日当たりのよい場所に自生し、庭木や公園樹などとして植栽されています。果実の果肉は甘く、干し柿に似た味がします。

ムクロジ

本州茨城県・新潟県より南、四国、九州、沖縄に分布する落葉高木。人家周辺や公園、とくに神社に多く植栽されています。

ユウスゲ

ラッパ状の美しい黄色い花です。

タブノキ

本州、四国、九州、沖縄に分布する常緑高木。南の地域では山地にも自生し、公園樹や庭木として植生されています。クスノキに似ていますが、クスノキのような芳香はありません。

ドングリ (秋頃園内中)

園内には様々なドングリの木があります。

- ・アラカシ 丸い卵型から丸い樽型。常緑広葉樹。
- ・ウラジロガシ 卵型。常緑広葉樹。
- ・カシワ 球型。落葉広葉樹。
- ・イチイガシ 樽型から太い樽型。常緑広葉樹。ドングリは、渋みがないので食用となります。
- ・マテバシイ 砲弾型。常緑広葉樹。
- ・クヌギ 樽型から球型にちかいボール形。落葉広葉樹。
- ・コナラ 細長い卵型。落葉広葉樹。

だいたいの植生として、カシ・シイ類は体験エリア、クヌギ・コナラ等は見学エリアにあり、様々な大きさや形があります。ドングリの時期はぜひ比較・観察して見てみてください。

オレンジ色ラインの拾ってみよう

ドングリコース

復元集落を通るこのコース。実はコースとなっている園路沿いにはドングリの木がたくさん！拾うには秋ですがドングリには春に受粉してその年の秋に実る1年成ドングリと次の年の秋に実る2年成ドングリの2種類あります。さがしてみてください。

ほかにも、園内には様々な植物があります。ゆっくりとご覧ください。



大賀蓮 (オオガハス) (7月頃体験エリア池)

花言葉：清らかな心 等
弥生時代の地層から見つかった蓮で発芽・開花させた博士の名をとって大賀蓮といいます。

縄文の森ではさまざまな植物が見られますが、採集はご遠慮いただいております。この環境が維持できるのもお客様のご協力のおかげです。これからも暖かく見守っていただけますようお願いいたします。

赤ラインのカメラ好き必須

見晴らし最高コース

弓張り橋を渡り、まつりの広場、オオガハスのある池に展望の丘を巡る眺めの良いコース。ぜひカメラを持って楽しんで歩いてください。オオガハスは6月から7月にかけて咲き、午前中がオススメです。

青色ラインの緑を満喫

森林浴コース

大きく園内を回るコース。森林浴をしながらのんびり回するにはちょうどいいコースです。

黄色ラインの健康増進

体力作りコース

縄文の森の外周を回るコース。平坦かと思いきや上り下りもあるタフなコースです！道路を歩くこともありますので車等には十分気をつけてください。

見学エリア

コナラやクヌギ、クリなどの落葉広葉樹の森。約9,500年前の森を再現。冬は葉が落ち寂しくなります。春には新緑が芽生え生命の息吹を感じるこの出来る森です。



展示館の展望台

展示館3Fの展望台。桜島から霧島連山まで360度の大パノラマを見ることができます。

シンボルツリー

大きなエノキ。ウォーキングコースのスタートとゴール地点の目印に。



復元集落

現代とはまったく違うお家。この形がポイント！中にも入ることができますのでぜひどうぞ。



国指定史跡

遺跡保存館もある草原のような国指定史跡。晴れた日には爽やかな風が吹き、霧島連山など眺めるのも素敵です。夕日も綺麗でお勧めです。

弓張り橋

縄文の森を見学エリアと体験エリアに分ける道路や風景が見られる弓張り橋。



体験エリア

アラカシやヤマモモなどの照葉樹の森。約7,500年前の森を再現。ヤマモモなど森の食料の豊かさを感じるこの出来る森です。

まつりの広場

丸い広場は、園路に沿ってベンチもあり、のんびりするにはもってこいの場所です。また、大変広いので家族や友達とピクニック等も楽しめます。

展望の丘

錦江湾と桜島の風景が素敵な展望の丘。実は夕日もおすすめのポイントです。



体験学習館

気軽に出来る縄文体験！いろいろなメニューをご用意しております！お気軽に係の者におたすねください。



池

体験エリア・見学エリアにそれぞれあります。また、鴨など水鳥の目撃例有り。ほかにもカエルにとんぼ、めだか、初夏にはホタルも見られるようです。



「縄文の森」の実は、〇〇なんですポイント

- ①. 実は7月～8月は駐車場が19時まで開放されています！ちなみに1月1日も駐車場開放していますので初日の出も見られたりします。
- ②. 実は縄文の森は、見学エリアと体験エリアでは植生が違います！季節によっては全く違う森の一面が見られるかも。
- ③. 実は縄文の森内にはところどころに石で出来た目印があります。これは様々な物の出てきた場所を表しています。ぜひ見つけてみてください。

上野原縄文の森ボランティアグループ



ボランティアグループどんぐり倶楽部では1年を通して、様々な活動を行っております。その活動の様子をご紹介します。

土・日・祝日は、復元集落において、「上野原遺跡」についてのガイドを行っております。一期一会の気持ちでお客さまとのふれあいを楽しんでおります。



※縄文の森最大のイベント『縄文の森 春・秋まつり』でも大活躍しております。なかでも食事ブースにおいて出品されるどんぐり粉を混ぜた「どんぐりうどん」は絶品です。ぜひご賞味ください。

もちもち食感!!



春



○縄文の森ウォーキング&グルメを楽しもう

夏



○本格派そうめん流し&工作

秋



○十五夜まつり
○ペットボトルロケットを飛ばそう&竹に巻くパン作り

冬



○縄で作る正月リース&干し柿作り
○節分を楽しもう
○ふれあい体験(アウトドア料理に挑戦)



霧島市立国分南中学校のボランティアガイド

本校の生徒はボランティアガイドを通して自分たちの郷里に誇るべき歴史遺産があることを知りました。併せて他人に情報を伝えるために為すべきことは何かを学んでいます。これからの社会ではこれまで以上にプレゼンテーションやコミュニケーションなどの情報伝達力が必要になります。この体験で学んだことが、これからの人生に大いに役立つもの信じています。

霧島市立国分南中学校長 兼 芳章 氏

霧島市立国分南中学校では、平成11年7月から生徒による案内ボランティア活動を行っています。今年度は、新しい試みで、養成講座において実地研修を行い、よりパワーアップしたガイドを目指して頑張っています。



私たちがご案内いたします！
他にもたくさんの仲間が待っています。

(今年度は夏休み期間と秋まつりで実施しました。)



かまたえり
鎌田愛理さん



縄文の森について知り、縄文の森を紹介したくて参加しました。笑顔でわかりやすいガイドを目指して頑張ります。

えびたそうた
恵畑颯太さん



友人の勧めで参加しました。何事も積極的に取り組むことをモットーにはきはきとしたガイドを目指します。



【実地研修の様子】



【遺跡保存館を案内している様子】

レストラン「フォレスタ」 TEL・FAX (0995) 46-3600

縄文の森展示館 2 階には、レストラン「フォレスタ」があります。上野原縄文の森を訪れた方に楽しく食事していただけるよう工夫して営業いたしております。



【フォレスタ押しメニュー】

店長おすすめの『縄文バーガー』はたっぷりの野菜の中にジューシーでボリューム満点の黒豚ハンバーガーが入っています。



店内は落ち着いた雰囲気、ゆったりとお食事を楽しめます。

平成 24 年度上半期実施事業のご紹介

一日縄文人体験



縄文の森で採れる素材を使って、体験活動を行っています。6月には草木染め、8月には薩摩焼作りを行いました。

感想：(草木染め) 時間はかかるが、布を開くとの楽しみが良い。(薩摩焼) 講師のご指導が丁寧で、トークも楽しくて大満足です。

考古学講座



上野原遺跡を中心に南九州の縄文文化について解説する一般向けの講座で、県立埋蔵文化財センターの先生を講師に迎え、2回開催しました。

感想：2回目の講座「縄文時代の植と食」を受けて、植物のこと、食生活のこと、楽しく勉強することができました。家の近くにも勉強した植物が沢山あり、今度じっくり見てみようと思いました。

縄文の森春まつり



毎年恒例、体験型のお祭りです。様々なステージパフォーマンスや火おこし大会、なりきり縄文人レースなどを行いました。

感想：親子で楽しめました♪

夏休み縄文キャンプ村



復元集落の竪穴住居に宿泊するイベントで、縄文料理作りやきもだめし大会、キャンプファイヤーなどを行いました。

感想：大満足でした。めったにできない体験ができ、子供達にも夏休みの良い思い出ができました。

縄文の森不思議探検



小学校高学年から中学生を対象とした講座で、県立博物館の講師をお迎えし、虫の灯火採集や大昔の暮らしについての講義等を行いました。

感想：(虫の灯火採集)を受けて、昆虫の光に集まる特性及び昆虫採集に興味をもち、成果がありました。

先生のための考古学講座



普段は教える立場の学校の先生方が生徒になって、上野原遺跡についての学習や縄文体験を行っていただきました。

感想：子供達の体験活動の経験が少ないと言われているが、教える側も実際に体験しなければ子供達に伝えることができないことがあります。今日は自分自身が体験することができ、とても良い経験になりました。

おでかけ体験隊



希望があった県内の小・中学校(一部地域を除く)で火おこし体験やアクセサリ作りなど、出張体験を行いました。

感想：子どもたちも大満足の活動となりました。早速、縄文の森に行ったという子どももいました。

ミュージアムコンサート in 上野原縄文の森



霧島国際音楽祭のアウトリーチコンサートとして縄文の森で演奏会を開催しました。

感想：音楽鑑賞施設とは違う施設である縄文の森で聞く音色は、また違った味わい深さがありました。

H24年10月～H25年3月のイベント情報

開園10周年特別企画展
第35回企画展

「縄文人の匠の技～土器・土偶・耳飾りからのメッセージ～」
「古代人の華麗な技」

	日	曜日	申込	行事名	対象	料金
10月	6～	土～		開園10周年記念特別企画展（～12月2日(日)まで） 「縄文人の匠の技～土器・土偶・耳飾りからのメッセージ」		
	13・14	土・日		開園10周年記念 縄文の森秋まつり 10:00～15:00		入場無料
	20	土	※	鹿児島島の遺跡に学ぶ 第2回「自然と共に生きた南九州の人々」 （場所：かごしま県民交流センター）	大人向け	無料
	27	土	※	縄文の森不思議探検 第3回「縄文の森から星座を観察しよう」	小学5年生以上	無料
11月	1～	木		縄文の森ミニ企画室「文化財の紹介」（～11月11日(日)まで）		無料
	3	土		開園10周年記念特別企画展講演会 講師：東京大学文学部 教授 設楽 博己 氏	大人向け	無料
	17	土	※	一日縄文人体験「縄文リース作り」	小学生以上	無料
	24	土	※	どんぐりイベント『ペットボトルロケットを飛ばそう&竹に巻くパン作り』	どなたでも	300円
	未定	土	※	考古学講座 第4回「遺跡を見学しよう」	大人向け	未定
12月	8	土	※	一日縄文人体験「冬の祭り' ミニ門松作り」	小学生以上	無料
	22	土	※	どんぐりイベント「縄で作る正月リース&干し柿作り」	どなたでも	300円
	22～	土～		第35回企画展「古代人の華麗な技」（～3月31日(日)まで）		
1月	5	土	※	一日縄文人体験「天まで揚がる凧作りと凧揚げ大会」	小学生以上	無料
	19	土		第35回企画展講演会 講師：文化庁主任文化財調査官 原田 昌幸 氏	大人向け	無料
	26	土	※	どんぐりイベント「節分を楽しもう（工作、恵方巻き作り、お菓子まき）」	どなたでも	300円
2月	2	土	※	考古学講座 第5回「古代隼人の謎」	大人向け	100円
	16	土	※	一日縄文人体験「縄文料理を作ろう」	小学生以上	無料
	23	土	※	鹿児島島の遺跡に学ぶ 第3回「縄文時代の生活」 （場所：かごしま県民交流センター）	大人向け	無料
3月	1	金～		縄文の森ミニ企画展「縄文の森20景」（～3月31日(日)まで）		無料
	30	土	※	どんぐりイベント「ふれあい体験（アウトドア料理に挑戦!）」	どなたでも	300円

○詳細については上野原縄文の森までお問い合わせください。

○「※」がついているイベントは事前申込が必要です。上野原縄文の森にお電話かメールでお申し込みください。

【開園時間】 午前9時～午後5時
（展示館入館は午後4時30分まで）

【休園日】 毎週月曜日（休日に当たるときは、その翌日）
（4/29～5/5及び8/13～15は無休）
12/30～1/1（年末年始）

【利用料金】（団体は20名以上）※展示館内の展示室・シアターのみ有料
◇個人 小・中学生 150円 高・大学生 210円 大人 300円
◇団体 小・中学生 120円 高・大学生 160円 大人 240円
（県内の学校が教育課程等に基づき学習活動の一環として利用するとき等は減免措置有り）



【編集・発行】 公益財団法人 鹿児島県文化振興財団 鹿児島県上野原縄文の森
〒899-4318 鹿児島県霧島市国分上野原縄文の森1番1号 電話(0995)48-5701 FAX(0995)48-5704
URL <http://www.jomon-no-mori.jp> E-mail: uenohara@jomon-no-mori.jp